

令和5年度桜園教育賞

受賞者：岩野 雅子 副学長

業績題名：外国人留学生（学部生・大学院生）の指導を通じた異文化交流の教育実践と学習成果の評価方法の制度設計」

受賞理由：

岩野雅子教授は長年、国際文化学部では学部基幹科目の異文化交流論を、国際文化学研究科では基礎科目の国際文化学研究法を担当され、学部、大学院の多くの留学生の指導を通じて異文化交流の教育実践にあたられてきた。岩野教授の研究室を出て本国に帰り、あるいは日本国内に定職を得て、各界のリーダーとなっている元留学生は枚挙にいとまがない。双方向的に、岩野教授の指導から、国際交流に資するポジションで活躍中の日本人卒業生、修了生が継続的に輩出されている点も特筆すべきである。また、岩野教授は卒業論文、修士論文の評価ルーブリックの作成を率先し、その定着と活用に大きく寄与されてきた。さらに、教育改革担当の副学長の職を2度にわたりお勤めになり、学修成果の可視化に関する学内の制度設計に邁進され、今年度から本格稼働の運びになっている。以上の長年の教育活動と教学に関する学内運営の功績に敬意を表し、岩野教授が推薦され、桜園教育賞受賞に至った。